



山笠見物の「道しるべ」

飾り山笠 Kazariyama
 昇ぎ山笠 Kakiyama

7月12日 午後3時59分
 【追い山ならし】 榊田神社と「ならし」コース 約4キロ

7月13日 午後3時30分
 【集団山見せ】 明治通りの呉服町交差点～天神・福岡市役所(往路) 天神～明治通り～青龍堂角(復路) 計約2.1キロ

7月15日 午前4時59分
 【追い山】 榊田神社と追い山コース 約5キロ (15日午前6時 鎮めの能…榊田神社能舞台)



豪快!!
 大黒流
 櫛田入り
 (2015年7月15日弘祝)

博多 山笠

2016年7月1日(金)～15日(金)

国重要無形民俗文化財
 伝統七七年



飾り山笠 Kazariyama
 昇ぎ山笠 Kakiyama

地下鉄駅(空港線) Subway Station(Kuko Line)
 地下鉄駅(箱崎線) Subway Station(Hakozaki Line)
 地下鉄駅(七隈線) Subway Station(Nanakuma Line)
 バスターミナル Bus Terminal 鉄道駅 Train Station

「追い山」の見物スポット

- 1 【榊田神社】昇ぎ山笠が次々に「櫛田入り」(境内の清道を廻る)して、そのまま夜明けの博多の町にとび出していく。
- 2 【東長寺前】ここにも「清道(旗)」がある。神仏混淆時代、榊田神社には東長寺の神護寺があるなど関係が深い。
- 3 【承天寺前】山門前に三つ目の「清道(旗)」がある。承天寺は「博多山笠発祥の地」。ここでも老師が出迎え、台上がりは拝礼をする。
- 4 【東町筋】山笠は博多の町につくられた縦筋の一つ東町筋を一緒に浜へ向かって下る。かつての「大通り」も、車社会の現代では「狭い」。
- 5 【大博通り】元の呉服町筋。戦前から戦後にかけて拡張され、現在の「大博通り」となった。歩道も広く、安心して見られる点で親子連れ、団体向け。
- 6 【西町筋】道幅が狭い、特に福岡大空襲でも焼け残った冷泉町の辺りは特に狭い。広い大博通りからここに入って来た山笠ほどの流も慎重に担う。
- 7 【須崎町の廻り止め】五分ごとに昇ぎ出した各山笠は約5キロのコースを走り、廻り止めに向かって残ったエネルギーを一緒に爆発させる。

番	流(ながれ)	種別	人形師
一	東流	若武者 応破波瀾	白水 英章
二	中洲流	坂田 怪童丸	溝口 堂央
三	西流	智略真田勇 戦 譽	三宅 隆
四	千代流	一休知惠親之妙	今井 信喬
五	恵比須流	秀麗陵王 鬼面勲	川崎 修一
六	土居流	神光普照 三千界	川崎 修一
七	大黒流	福之 神 招来	中村 信喬
八	上川端通	西遊 心 肝	置鮎 正弘
九	博多駅前商店連合会	本朝 廿四孝 記	田中 比呂志
十	キャナルシティ博多	猛将 幸村夏之陣	田中 勇
十一	川端中央街	華丸 大のなんしよ?	生野 四郎
十二	ソラリア	蜂侍 天下無双 誉	置鮎 琢磨
十三	新天町	山崎 川の合戦	置鮎 琢磨
十四	博多マリバレーン	須佐之男 切大蛇	中野 親一
十五	天神一丁目	戦国 桶狭間	小嶋 慎一
十六	渡辺通二丁目	昔話 博多勢揃い	亀田 均
十七	福岡ドーム	薩 佐之 狭間	龜田 均
番外	榊田神社	京都 五條橋 上	龜田 均
見送り		奇襲 桶狭間 決戦	今井 洋之
表		熱男 翔若 鷹	
見送り		愛と勇気のアンバマン	
表		決闘 殿流 島	
見送り		大坂 夏之陣	
表		大坂 冬之陣	
見送り		昔話 博多勢揃い	
表		戦国 桶狭間	
見送り		須佐之男 切大蛇	
表		山崎 川の合戦	
見送り		蜂侍 天下無双 誉	
表		華丸 大のなんしよ?	
見送り		猛将 幸村夏之陣	
表		本朝 廿四孝 記	
見送り		福之 神 招来	
表		神光普照 三千界	
見送り		秀麗陵王 鬼面勲	
表		一休知惠親之妙	
見送り		坂田 怪童丸	
表		智略真田勇 戦 譽	
見送り		若武者 応破波瀾	
表			

平成二十八年の山笠と人形標題
 (一)七は昇ぎ山笠(中洲千代流は飾り山笠も)、(八)番外は飾り山笠

博多祇園山笠は福岡市博多区に鎮座する榊田神社の祇園大祭に博多っ子が誠を捧げる伝統ある神事であり、祭礼は例年通り七月一日(金)～十五日(金)ですが、今年は「ライオンクラブ国際大会」に合わせて飾り山笠十本を六月二十四日から公開。世界から集まるメンバー約三万五千人を歓迎。また郷土・福岡をアピール、さらなる発展に寄与するためです。

大陸、半島に近い博多の地は中世以来、日本列島の窓口として栄えてまいりました。しかし、人口が増えれば、食べ物が腐敗しやすい夏季には恐ろしい疫病が流行ります。これを逃れるため、祇園大神に山笠を奉納したのが始まりと伝えられます。

飾り山笠に続いて七月十日から勇壮な昇ぎ山笠が登場します。七流(流は町の集合体)の山笠が、一流千人前後の締め込み、法被姿の男たちによって昇かれ、「オイッサ」「オイッサ」の掛け声が博多の町々にこだまして、十五日早朝の「追い山」になだれ込みます。

この勇壮華麗な祭りをお楽しみください。

※ 人形師は敬称略。表、見送りとあるのは飾り山笠。